

# 全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立日新小学校

## 1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

## 2. 調査実施日

平成27年4月21日（火）

## 3. 調査の対象

小学校第6学年，全児童

実施児童数（ 84 人）

## 4. 調査の内容

### (1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数・理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

### (2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

### (3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べて上位層が少ない。  
平均正答率（本校 65.7／泉佐野市 66.7／大阪府 67.6／全国 70.0）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国とほぼ同じ状況にあるが、全国と比べて上位層が少ない。  
平均正答率（本校 57.5／泉佐野市 59.2／大阪府 62.7／全国 65.4）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○「話す・聞く」ことに関する問題については課題がある。</p> <p>3, 聞き方の説明として適切なものを選択する。 (36.9/48.9)</p> <p>【伝統的な言語文化と交互の特質に関する事項】</p> <p>○漢字の読み方については概ねできている</p> <p>1ー(1) 友人を家に<u>招く</u> (98.8/97.5) 1ー(2) 自分の<u>信念</u>をつらぬく (96.4/95.7) 1ー(3) 全員がすぐに<u>承知</u>した (96.4/92.7)</p> <p>○漢字の書き取り問題については漢字により正答率が若干変わる。</p> <p>1ニ(1) シャワーを<u>あ</u>びる (66.7/56.2) 1ニ(2) 鳥の<u>す</u>を観察する (73.8/76.5)</p>	<p>【読むこと】</p> <p>○新聞のコラムを読んで表現の工夫をとらえることに課題がある。</p> <p>5ー コラムの中で筆者の読書体験が書いてあるまとまりを選択する。 (44.0/59.5) 5ニ コラムの中で筆者が引用している言葉を書き抜く。 (10.7/19.8) 6 登場人物の関係についての説明として適切なものを選択する (57.1/67.5)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○具体的な事例を挙げて説明する文章を書くことは概ねできている。</p> <p>4 説明の文章の書き方の工夫として適切なものを選択する (85.7/86.0)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>【書くこと】</p> <p>○目的や意図に応じ、新聞の割り付けをすることに課題がある。</p> <p>1ー 新聞の割り付けとして適切なものを選択する (64.3/74.6)</p> <p>○登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読することに課題がある。</p> <p>3ニ 声に出して読むときの工夫とその理由を書く (57.1/66.6)</p> <p>○目的や意図に応じて、取材した内容を整理しながら記事を書くことに課題がある。</p> <p>1三「中田とよさんへのインタビューの様子」の内容をまとめて書く (29.8/34.7)</p>	<p>【読むこと】</p> <p>○目的に応じ、中心となる語や文を捉えることに課題がある。</p> <p>2ア 文章に入る言葉の意味として適切な内容書き抜く (59.5/75.5) 2イ 文章に入る言葉の意味として適切な内容書き抜く (75.0/86.0)</p> <p>○文章と図とを関連付けて、自分の考えを書くことに課題がある。</p> <p>2三 学期の分担の決め方について、「学期の分担図」を基にして書く (38.1/41.6)</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか	61.9	61.1		0.8
国語の勉強は大切だと思いますか	91.7	92.0		0.3
国語の授業の内容はよくわかりますか	78.6	82.0		3.4
読書は好きですか	65.4	72.8	◇	7.4
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	79.7	88.6	◇	8.9
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	67.8	65.2		2.6
国語の授業で意見などを発表するとき、上手く伝わるように話の組立を工夫していますか	59.5	61.2		1.7
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由がわかるように気をつけて書いていますか	71.5	72.7		1.2
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか	70.3	77.2	◇	6.9
今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか (「最後まで解答を書こうと努力した」の割合)	94.0	97.4		3.4

○「国語の勉強は好きですか」「国語の勉強は大切ですか」の設問について、全国に比べてもほぼ同じ割合になっているが、昨年度の本校の児童と比較すると若干低くなっている。

「国語の勉強は好きですか」(H26 68.0)

「国語の勉強は大切ですか」(H26 91.8)

○「読書は好きですか」の設問に対して、肯定的な児童の割合が、全国を下回っており、昨年度に比べても低い数値となっている。(H26 75.2)

○「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」の設問に関しては、全国に比べて8.9%低くなっており、今後は、子どもたちの国語の学習に対する有用感を高める必要がある。

○「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」「国語の授業で意見などを発表するとき、上手く伝わるように話の組立を工夫していますか」の設問については昨年度よりかなり数値が改善している。

「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」(H26 47.5)

「国語の授業で意見などを発表するとき、上手く伝わるように話の組立を工夫していますか」(H26 51.6)

○「国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか」の設問については昨年度より数値が低下している。(H26 79.4)

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層がやや少なく、中位層がやや多く分布している。

平均正答率（本校 71.7／泉佐野市 73.5／大阪府 74.8／全国 75.2）

「B区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は、全国に比べると上位層が少なく、中位層がやや広く分布している。

平均正答率（本校 38.0／泉佐野市 40.8／大阪府 44.1／全国 45.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

算数A	特徴がみられた設問
<p><b>【数と計算】</b></p> <p>○繰り上がりのある2位数の加法の計算をすることは概ねできている。 2（1）<math>28 + 72</math>を計算する。（97.6/98.3）</p> <p>○異分母の分数の減法の計算をすることが概ね出来ている。 2（3）<math>5/9 - 1/4</math>（79.8/81.9）</p> <p>○除数が整数である場合の分数の除法の計算に課題がある。 2（4）<math>5/6 \div 7</math>を計算する（76.2/83.4）</p> <p><b>【量と測定】</b></p> <p>○<math>180^\circ</math>より大きい角のおよその大きさを2直角、3直角を基に捉えることに課題がある。 4（1）<math>90^\circ</math>、<math>180^\circ</math>、<math>270^\circ</math>、<math>360^\circ</math>を基準として角の大きさを見当付けたものから、正しいものを選ぶ。（67.9/78.9）</p> <p>○<math>180^\circ</math>や<math>360^\circ</math>を基に分度器を用いて、<math>180^\circ</math>よりも大きい角の大きさを求めることに課題がある。 4（2）分度器の目盛りを読み、<math>180^\circ</math>より大きい角の大きさを求める。（51.2/56.4）</p>	<p><b>【図形】</b></p> <p>○示された三角形が二等辺三角形になる根拠となる円の性質を、選択することに課題がある。 5（1）円の中心と円周上の2点を頂点とする三角形が二等辺三角形になる理由をとして、もっともふさわしい円の特徴を選ぶ。（40.5/49.9）</p> <p>○円の性質から三角形の等辺を捉え、二等辺三角形の性質から底角の大きさを求めることに課題がある。 5（2）円の中心と円周上の2点を頂点とする三角形の、角の大きさを求める。（57.1/67.5）</p> <p>○示された見取り図の情報を基に、展開図に必要な面の大きさを読み取ることは、概ね出来ている。 6（1）作成途中の直方体の展開図について、残りの一つの面の長方形の縦と横の辺の長さを書く（76.2/75.3）</p> <p><b>【数量関係】</b></p> <p>○グラフに表されている事柄を読み取ることは、概ねできている。 7ハンカチを5日間持ってきた人数が、学年全体の人数の半分より少ない学年は、4年生だけであることを示しているグラフを選ぶ。（84.5/81.8）</p>

算数B	特徴がみられた設問
<p><b>【数と計算】</b></p> <p>○切り上げた場合の見積もりの結果を基に、目標に達しているかについて判断することに課題がある。 4（2）切り上げて計算した結果が10000であることからわかることを選ぶ。（54.8/62.0）</p> <p>○概数を用いた見積もりの結果とそれに基づく判断を理解し、3000個集めればよい理由を記述することに課題がある。 4（3）目標に達するためには、12月に3000個のキャップを集めればよいわけを書く。（16.7/22.3）</p> <p><b>【量と測定】</b></p> <p>○単位量あたりの大きさを用いて、目的に応じた買い物の仕方を選択し、代金を求めることに課題がある。 2（1）トマトを7個買うとき、もっとも安くなる買い方を選び、そのときの代金を書く。（48.8/64.8）</p>	<p>○長方形の面積を2等分する考えを基に、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述することに課題がある。 5（1）示された図において、分割された二つの図形の面積が等しくなるわけを書く（4.8/12.5）</p> <p><b>【図形】</b></p> <p>○平行四辺形の作図の方法に用いられる図形の約束や性質を理解することに課題がある。 1（2）作図に用いられている平行四辺形の特徴を選ぶ。（38.1/54.6）</p> <p>○条件を変更した場面に面積を2等分する考えを適用し、示した部分の面積を求めることに課題がある 5（2）示された図形の色がついた部分の面積を求める。（39.3/47.8）</p> <p><b>【数量関係】</b></p> <p>○示された情報から基準量を求める場面と捉え比較量と割合から基準量を求めることに課題がある。 2（2）20%増量した商品の内容量が480mlであるとき、増量前の内容量を求める式と答えを書く（8.3/13.1）</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか。	72.6	66.6	◇	6.0
算数の勉強は大切だと思いますか。	92.8	93.1		0.3
算数の授業の内容はよくわかりますか。	83.3	81.0		2.3
算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか。	73.8	77.5		3.7
算数の問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか。	78.6	79.6		1.0
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。	69.1	67.7		1.4
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	84.5	90.3	◇	5.8
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	79.7	79.1		0.6
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。	76.1	80.6		4.5
算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか。	79.8	83.8		4.0
今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方を書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。 (「最後まで解答を書こうと努力した」の割合)	69.0	73.3		4.3

○「算数の勉強は好きですか」「算数の勉強は大切ですか」「算数の授業の内容はよくわかりますか」の設問について、昨年度と比較して改善し、全国と比べても高くなっている。

「算数の勉強は好きですか」(H26 62.9)

「算数の勉強は大切ですか」(H26 88.6)

「算数の授業の内容はよくわかりますか」(H26 77.4)

○「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」の設問や、わけや求め方を書く問題で、「最後まで解答を書こうと努力した」割合が昨年度よりも低く、また、全国と比べても低いことは課題である。

「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」(H26 88.6)

「最後まで解答を書こうと努力した」(H26 70.1)

## 平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

### 1. 全体の傾向

- 平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じであるが、全国と比べ上位層が少なく、中位層が多く分布している。

平均正答率（本校 53.2／泉佐野市 53.6／大阪府 57.3／全国 60.8）

### 2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

理科	特徴がみられた設問
<p><b>【物質】</b> ○熱膨張が小さい金属について、グラフを基に考察して分析した内容を記述することに課題がある。 1（3）振り子時計の軸に用いる適切な金属を選び、選んだわけを書く。（47.6/62.8）</p> <p><b>【エネルギー】</b> ○振り子時計の調整の仕方を調べるための実験について、条件を制御しながら構想することに課題がある。 1（1）振り子が1往復する時間を変える要因を調べるため適切に条件を変えた振り子を選ぶ。（65.5/77.6）</p> <p><b>【生命】</b> ○メダカの雌雄を見分ける方法を理解している。 2（1）メダカのめすとおすを見分けるための観察する部分を選ぶ。（78.6/78.0）</p>	<p>○顕微鏡の名称を理解することは全国より上回っている。 2（3）示された器具（顕微鏡）の名称を書く。（65.5/61.6）</p> <p>○顕微鏡の適切な操作方法については課題がある。 2（4）顕微鏡の適切な操作方法を選ぶ。（31.0/37.9）</p> <p>○植物の適した栽培場所について、成長の様子と日光の当たり方を適用して、その内容を記述することに課題がある。 2（5）インゲンマメとヒマワリの成長の様子や日光の当たり方から、適した栽培場所を選び、選んだわけを書く。（27.4/44.2）</p>

### 3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は好きですか。	85.7	83.5		2.2
理科の勉強は大切だと思いますか。	86.9	86.9		0
理科の授業の内容はよくわかりますか。	86.9	87.9		1
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。	70.2	69.3		0.9
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	67.8	74.5	◇	6.7
理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか。	59.5	54.9		4.6
観察や実験を行うことは好きですか。	92.9	90.1		2.8

理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか。	73.8	75.3		1.5
理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことがわかったのか考えていますか。	71.4	80.4	◇	9.0
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか。	69.1	67.1		2.0

- 「理科の勉強は好きですか」「理科の勉強は大切ですか」「理科の授業の内容はよくわかりますか」の設問については、全国と比べて概ね同程度の割合である。
- 「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」の設問は、全国と比べて特に低い割合になっている。今後、理科の学習と将来とを関連付け、キャリア教育も念頭に置きながら指導していかなければならない。
- 「観察や実験を行うことは好きですか。」の設問については、全国と比べてやや高い割合であるが、「理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことがわかったのか考えていますか。」の設問の割合が、全国と比べ9.0ポイントも低くなっている。このことにより、本校の児童は、観察や実験を行うは好きだが、その結果により何がわかったのかや、どう生かしていくかなど、次のステップにまで思考が進むことに課題があることが確認された。

平成27年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1, 2と3, 4はそれぞれ同じ傾向と捉える。(例えば, 1. 当てはまる 2. どちらかといえば, 当てはまる 3. どちらかといえば, 当てはまらない 4. 当てはまらない)

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものや, 昨年と比べて特徴的な項目を列挙した。さらに下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校 回答率 / 全国 回答率 >
【家庭生活の様子】	○家庭生活では朝食の摂取率や就寝時間等、規則正しい生活習慣がおおよそ身につけている。 家庭での過ごし方ではテレビやビデオの視聴、テレビゲームや携帯電話の操作に費やす時間が国に比べて多い。 地域行事への参加率は全国に比べて低い。	○朝食を毎日食べていますか <91.7/95.6> ○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか <82.2/79.5> ○普段(月～金)1日どれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDをみますか 3時間以上 <36.9/36.1> ○普段(月～金)1日どれくらいの時間、テレビゲームをしますか 3時間以上 <22.7/17.0> ○普段(月～金)1日どれくらいの時間携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか 2時間以上 <10.7/5.7> ○今住んでいる地域の行事に参加していますか <54.8/66.9>
【家庭学習の様子】	○家庭学習については、2時間以上学習する児童の割合が国を上回っている一方、30分より少ない児童も多い。 宿題をする週間がついてきている。また、昨年と比べて予習・復習をする児童の割合が増えている。予習 (H26 36.1) 復習 (H26 44.3)	○家で、学校の宿題をしていますか <98.8/96.8> ○家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか <60.7/62.8> ○学校の授業以外に普段(月～金)、1日にどれくらいの時間勉強しますか。(学習塾や家庭教師も含む) 2時間以上 <36.9/25.7> 30分より少ない <14.3/12.1> ○家で、学校の授業の予習をしていますか <55.9/43.4> ○家で、学校の授業の復習をしていますか <61.9/54.5>
【学校での学習の様子】	○「総合的な学習の時間」については、課題解決や発表等の活動に取り組んでいる割合が昨年よりも改善がされているものの(H26 38.1)国を下回っており、自分の考えを説明したり、書いたりすることを難しいと感じている児童が多い。 学校のきまりを守るという気持ちが全国より低い。	○「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか <54.8/65.8> ○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか。 <67.9/60.1> ○学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか <54.7/55.2> ○学校のきまりを守っていますか。 <78.6/91.1>



## 本校の取組み

### ◎これまでの取組み

これまで本校では、児童の学力実態を踏まえ、「自分の考えをもち伝え合うコミュニケーション能力の育成」を研究主題として、研究授業や公開授業等、職員の研修に取り組んできました。

また、朝学習や家庭学習を通じて、漢字や四則計算などの基礎的な学力を身につけさせることに取り組んできました。特に算数のつまずきやすい単元では、3年生から6年生において、習熟度分割授業を展開するほか、放課後のまなびんぐサポート事業を活用して、3年生の希望者を対象に算数の補充学習を実施しています。

さらに、「自分にはよいところがある」と思っていない児童が3割以上もおり、自尊感情や自己有用感が低い実態を考え、地域の福祉委員会と連携した「高齢者友愛訪問活動」や「花いっぱい運動」を推進し、敬老の気持ちや自然を愛する心、ボランティア精神を涵養するとともに、地域の方に喜んでもらうことを直に体験することで、自分は誰かの役に立っている大切な存在なのだという思いを持ってほしいと願っています。そのほかにも「良いところ見つけ」などの活動を通じて、自尊感情の高揚に努めています。

### ◎これからの取組み

本校では、平成27年度全国学力・学習状況調査の分析結果を基に、主に次に示すような点を中心に課題克服に向けて取り組んでいきたいと考えます。

#### ①授業改善に向けた取組みについて

授業改善については、従来から取り組んでいるところですが、特に今回、児童質問用紙の「学習したことは、将来、社会に出たとき役に立つと思いますか。」という設問に対する肯定的な回答が、国語、算数、理科、それぞれが、全国よりも低い数値でした。国語(79.7/88.6)、算数(84.5/90.3)、理科(67.8/74.5)

今後は、学習と身近な生活とを関連付けながら、キャリア教育を視野に入れ、児童に対して指導していきます。また、職員の指導力向上のため、校内・校外の研修にもより積極的に取り組み、わかりやすく楽しい授業づくり・授業改善に努めていきます。

総合的な学習の時間の取り組みと平均正答率との相関関係が指摘されています。そこで、本校では、生活科や総合的な学習の時間を活用して、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表する学習にも、これまで以上に取り組みを充実させていきます。

これまでも実践していた3～6年生の算数における習熟度別分割授業については今後も継続していくとともに、さらに、授業規律の徹底についても、研究部を中心に、全校統一ルールを確立し取り組みをすすめています。

#### ②朝学習の時間等を活用した基礎・基本の徹底について

朝学習等を利用した基礎・基本の徹底については、漢字の読み書きや四則計算において、本年度の学力・学習状況調査で高い正答率を示す等、一定の成果をあげています。今後も大阪府教育委員会が作成した教材等も活用しながら、取り組みを推進し、朝学習等を通じて、児童の集中力のスイッチを入れていけるよう努めます。

#### ③家庭学習の推進について

本校の児童は宿題については、よく取り組んでいるものの(H26.97.0/H27.98.8)、自分で計画を立てて勉強する力が昨年度よりは改善したが、まだまだ弱く(H26.46.4/H27.60.7)、学校の授業の予習(H26.36.1)(H27.55.9)や復習(H26.44.3/H27.61.9)をする児童の割合が低いことが明らかになりました。自学自習の力がしっかりと身につけているかどうか、児童が将来自らの進路を切り開いていく上で、大切な要素となることから、今後、家庭と連携しながら、家庭学習を推進し、主体的に学習に臨むことのできる児童の育成を目指します。そのため今年度は、具体的な手立てとして、「宿題ばっちりウィーク」を実施し、家庭での宿題や自主学習についてご家庭の協力を得ながら家庭学習の充実を努めていきたいと考えています。

以上、「授業改善」「基礎・基本の徹底」「家庭学習の推進」という三つの柱を本校の学力向上に向けた方策の中心に据え、今後とも研鑽を重ねてまいります。